

令和4年度第2回帯広市交通安全市民会議 開催結果

1 開催日

令和4年12月28日（水）書面開催

2 議事

帯広市における交通事故の概況について

令和4年度帯広市交通安全実施計画実績報告

3 委員からの意見と帯広市の回答

ご意見	帯広市の回答
<p>市道除雪事業について、雪捨て場の管理には周辺道路を含め、安全が担保される対策が必要。</p> <p>降雪があると雪捨て場の近辺には排雪用ダンプカーが集中するが、未除雪の道路脇に凍結した雪が積み上がるため、排雪用ダンプカーが対向車とすれ違うことができないのが実情。</p> <p>市から委託を受けた除雪用ダンプカーが一般車両と接触を起こす可能性があり、適切な対処を願いたい。</p>	<p>ご意見につきましては関係部署と共有し、今後の業務の参考とさせていただきます。</p>
<p>車の運転において、交差点に差し掛かる際、信号の変わり時には、あらかじめ歩行者信号を見て対応することが安全な運転技法である。</p> <p>歩行者信号への視界を妨げることが無いよう、街路樹の適切な整備を求めたい。除雪による歩行者信号への視界の妨げについても同様。</p>	<p>ご意見につきましては関係部署と共有し、今後の業務の参考とさせていただきます。</p>
<p>右折時にウインカー表示が著しく遅い車によって、後続車が不便を受け、結果、前方が見えにくいことによる接触事故を起こしかねない状況を目にすることが多い。</p> <p>「後続車にあらかじめ知らせる」という、ウインカー表示の意味の理解について、自動車教習所等との連携によって改善を図っていくことが求められる。</p>	<p>運転手による合図につきましては、道路交通法に規定されていることから、適切な実施について、関係機関と連携し、周知を図っていきます。</p>
<p>車両事故のみならず、歩行者自体の安全も大切な課題である。令和4年末の湿った大雪とその後の寒波により市内全域の歩道と特に交差点が恐怖を感じるほど滑りやすくなった。</p> <p>怪我に至る転倒事故の発生状況を把握し、必要な対策を講じることについてご配慮いただきたい。</p>	<p>ご意見につきましては関係部署と共有し、今後の業務の参考とさせていただきます。</p>

ご意見	帯広市の回答
<p>資料3の説明において、運転者の安全運転義務違反があったが、被害者側にも身を守る意識が必要とあることについて、まさにその通りで、歩行者の身を守る意識、周囲への存在のアピールが必要。</p> <p>自分で身を守ることを直接訴えられる場所を設けることやマスコミや地域の回覧板などでも告知できる対策が必要。</p>	<p>歩行者の安全に関しては、直近では広報おびひろ令和4年12月号「安心安全メモ」として記事を掲載したところです。</p> <p>今後とも夜光反射材等の配布や交通安全に関する呼びかけなどの周知啓発を継続していきます。</p>
<p>資料2の8 年齢別事故発生について、他の年代は10歳刻みになっているが、70歳以上は一括りになっている。70歳、80歳、90歳以上と分類してほしい。</p> <p>資料2の10 免許の経過年数別発生に関し、10年以上を一括りにしているが、参考にならない。</p>	<p>今後の資料作成の参考とさせていただきます。</p>
<p>冬季の道路、歩道は非常に滑りやすいため、高齢者は相当数の転倒や負傷が想定される。特に交差点付近の削り取りや砂撒きをお願いしたい。</p> <p>砂撒きに関しては、連合町内会やコミセン単位などで砂置き場を設け、市民への参加や協力依頼の検討をしていただきたい。</p>	<p>ご意見につきましては関係部署と共有し、今後の業務の参考とさせていただきます。</p>

以上